

2023 年度  
学校評価（関係者評価）

目標：子どもが集団の中で、遊びを楽しみ、育ち合う。

計画：●幼稚園生活では、子ども達一人ひとりの“個”の存在を大切にしながら、物事に向き合う力や集団の中の一人としての意識を育てる。

- 生活する基礎を培い、生きる力を養う。
- 今ある環境を活かし、親育てをしながら、子どもの心を育む。

評価者（グレース評議員）：A 梅崎、B 真田、C 古川、D 高井、E 小川、F 肌勢、G 國末、H 浦川、I 吉岡、J 坂本、K 國本、L 岸本、M 福井

評価項目		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	
<b>心身の健康な成長 (あそび)</b>	体を十分に動かしてあそびを楽しむことができる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	
	好きな遊びを見つけて存分に楽しむことができる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○
	※園の職員全員で子どもを育てている。	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	-	-	○
	様々な活動に挑戦する中で、友達と刺激し合い達成感を味わうことができる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○
	他学年との交流をもち、育ちに生かしている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○
	自分に自信を持ち、友達を認めることができる。	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○
	思いを言葉で伝え合い、豊かな表現力を身に付けることができる。	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○
	遊びを通して相手の気持ちに気づき折り合いをつけることができる。	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○
	戸外での遊びを通してバランスの良いからだづくりができています。	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○
	子ども達自ら遊びを工夫し、ルールや役割のある遊びを作り出す。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○
※遊びの時間を十分にとっている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	
<b>教育環境 (自然)</b>	園内の自然（樹木、果実、花、動物、虫、畑の野菜）を通して季節を感じるができる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	
	いきものに接することで“命の大切さ”を知ることができる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	
	畑の野菜を育てることで生長、収穫、食べ物のありがたみを知ることができる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	
	※夏期等、あずかりの体制が整えられている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	
	木の実や落ち葉などの自然物を使って遊ぶことができる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	
	実際の自然に触れ、五感を使って感じてみる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	
	※教師自身が園庭の木々や草花を知り、子どもの興味関心の動機づけができる。	-	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	-	-	○
	起伏のある広大な敷地で遊ぶことができる。	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	
植物や動物を育て、その成長に興味関心をもつ。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○		
<b>保健衛生 (食育)</b>	季節の伝統料理を頂く。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	
	食に対する意欲をもち、マナーを身につける。	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	
	旬の食材や自園で採れた野菜を味わえる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	
	※アレルギー対応ができています。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	
	※専任の保健師がおり、怪我の対応（簡易処置）を適切に行える。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	
	※健康に過ごすための季節ごとの注意点を看護師や教師から伝える。	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	
※栄養士との相談会を企画し家庭での食育に園が力を発揮する。	-	○	○	○	○	-	○	○	○	○	-	-	○		

	評価項目	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	
保護者と の連携	※家庭訪問を行い、子どもが育つ環境を理解している。	○	△	○	○	○	△	○	○	-	○	-	-	△	
	※子育て相談、カウンセリングなど、保護者を支える体制が整えられている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	
	※ホームページで日々の子どもの姿を知ってもらう。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○
	※保護者に、より保育のねらいなどを理解してもらう機会（参観や講座、懇談、グレース会、行事など）をもつ。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○
	※クラスや個人の様子などを、電話やお便りで保護者に丁寧に伝えられるよう努めている。	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○
	※活動の過程を見ってもらう機会をもつ。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○
就学準備	グループ活動、リーダー活動を通して責任をもって行動することに気づく。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	
	※文字、数字に興味をもつために、生活の中に工夫して取り入れていく。	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	
	一つの目標にみんなで取り組み、達成感、満足感を味わう。	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	
	※一人ひとりの違いを認め共に育つようすすめていく。	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	
	基本的生活習慣を身に付ける。	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	
	規範意識を身に付ける。	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	
その他	※卒園生も園へ来ることのできる機会を与え、その後のつながりをもっていく。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	
	※職員としての品位を保つよう心がけている。	-	○	○	○	○	○	○	△	○	○	-	-	○	
	※個々の教師としての向上心、同僚との意識の高め合いが感じられる。	-	○	○	○	○	○	○	△	△	○	-	-	○	
	※地域との関わりをもち、地域とも連携し、子育てを行っていく。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	

#### <今後の課題・コメント>

- ・人材確保が大変そうだなと感じた。お仕事をされている方が増えたことでクラスのお母さん同志の繋がりみたいなものが薄れていないか？悩み相談はなどを充実させるためにも、先生方の子ども達への見守り以外に、親へのフォローが増えていくのではないかと思うので、心配である。また、お手紙が電子化されたことで、内容がサラッと流されてしまっているのだと思う。バザーに卒園生が参加できることは嬉しいが、先生方の負担が増えていないか気になる。
- ・少子化に向けての対策が必要。特に0歳児の確保が大切になってくるのではないかな。若い親はSNSなどで情報を得ることが多くなっているので、SNSを活用した情報発信が必要となってくる。
- ・学校に行きたがらない子が多くなってきており、便利になったとはいえ生きにくい環境になっている。うちの子はたまに幼稚園に交ざりたいな、楽しかったな、と言うことがあり、個を尊重してもらいながら生活できていた心の満足、心の健康を思い出している気がする。子ども達が少しでも生活しやすい環境を作り、グレース幼稚園ならではの良さをこれからもずっと残しつつ、誰もが安心して過ごせる場でいてほしい。
- ・様々な活動や行事がコロナ前の状態に戻り、園全体あるいは学年全体で取り組むことができたり、卒園生も来園する機会が増えたことを大変嬉しく思っている。伝統を大切に守りながらも、その時代に合った新しい取り組み、考えを取り入れながら、ますます発展されることを祈っている。
- ・グレース幼稚園らしさは残しながらも、時代の変化に対応し、迅速に幼稚園の体制も変えていく姿勢が素晴らしい。子ども自身が自分で考え、型にはめない幼稚園での教育が、今のびのびと自分のやりたい事に取り組むわが子の人格形成に大きな影響があったと思う。
- ・時代の流れとともに変化しながらも「子ども達にとっての最善は何か？」を常に考えて保育を行っているグレース幼稚園の良さをこれからもたくさんの方々を知って頂きたいと思う。
- ・習い事先のお母さんがたまたま担任の先生が辞めてしまったクラスの保護者さんで、事情を聴き、驚きであった。在園中には先生方のプロ意識の高さを感じていただけに残念です。子ども達にとって質の高い人的環境が守られてほしい。
- ・先生の退職については今後の課題ですが、ベテランの先生が多いため、急な対応ができることは良いことだと思う。
- ・園児を第一に考えてくれる幼稚園、しかし今は職員の事も考える時代。様々な問題も、きっと素晴らしい未来への良きものとなるはず。
- ・共働き家庭の増加により、家庭訪問の廃止や委員活動の変化があり、働いている親にとっては預けやすい環境が整っている。しかし、一方で園と保護者が一体となって子ども達を見守るというより「預かり」の要素が濃くなり過ぎて少し寂しく感じる。「無駄なことを省いて保護者、教師の負担を減らすこと」と「園として保護者に求める妥協のできない協力のお願ひ」の間でベストは難しいが、ベターを見出してほしい。